

We support the **ilc**

希望の ひかり

第58回

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種
最新情報をお届けします

東京で国際シンポジウム ノーベル賞受賞者が講演

ILC実現に向けた国際シンポジウム「ノーベル賞受賞者に聞く ILCが開く科学の未来」が8月5日に東京のお茶の水女子大学で開かれ、ノーベル物理学賞を受賞したシエルドン・グラシヨウ氏とバリー・バリッシュ氏が講演しました。小沢昌記市長や達増拓也県知事ら約千人が詰め掛けた会場で、両氏はILC建設に伴う科学的意義や他分野への波及効果を強調。さらに「日本は素粒子物理の世界で大きな役割を果たしてきた。加速器を日本に設置するのは自然な流れだ」と日本で実現することに期待を寄せました。



© Yukio Yanagi
シエルドン・グラシヨウ氏

○シエルドン・グラシヨウ氏
（米ボストン大名誉教授）
講演要旨

われわれは今、ILCを必要としている。ILCは単に素粒子物理学者だけのための機械ではない。日本の科学の振興につながる施設だ。日本は多くのノーベル物理学賞受賞者を輩出しており、その偉大な伝統を引き継いでほしい。ILCは技術者、産業界にも刺激を与える。日本の技術力の開発につながり、産業界に利益をもたらすはずだ。



© Yukio Yanagi
バリー・バリッシュ氏

○バリー・バリッシュ氏
（米カリフォルニア工科大名誉教授）講演要旨

ILCはまさに未来のマシンだ。これまで大型加速器実験は50年ほど続いてきたが、円形が中心だ。実験に使う陽子は非常に軽く、放射光となつてエネルギーを失つてしまう。加速器実験で最も有効なのは、線形にすることだ。スイスにある欧州合同原子核研究所（CERN）で物質に質量を与える「ヒッグス粒子」が発見されたが、どのような性質か分かっていない。直線で電子と陽電子を衝突させてシンブルな反応を調べることが出来るILCがこの詳細研究を担うことになる。ILCには、世界中の研究者が集まり、さまざまな技術や知識が持ち込まれるため、非常にダイナミックな場所になるだろう。近い将来、日本が建設を決定することを期待している。

ILCサポーターズ6万人署名運動展開中！

政府の誘致判断を後押しするための**市民総参加の誘致運動**として7月からスタートした「ILCサポーターズ6万人署名運動」。地区振興会や市内事業者の皆さんのご協力により、市で取りまとめた署名数は8月末で約2万人となりました。6万人署名を目指して、引き続き募集しています。

対象 ILCの実現を応援する人

参加方法 7月に全戸配布したサポーターズ宣言用紙に氏名を記載のうえ、ILC推進室に送付（メール・FAX・郵送・持参）※サポーターズ宣言用紙は、ILCウェブサイトにも掲載していますが、ご連絡いただければ郵送いたします。

その他 ILCサポーターズ登録は無料です

また、署名運動と平行して、SNSによる参加も大募集します！

参加方法

- ①ハッシュタグ「#ILCサポーターズ」をつけてSNSで応援メッセージを投稿

- ②SNSでILCサポーターズ公式アカウントを「いいね」する

- ③ILCサポーターズ公式サイト専用フォームから応援メッセージを送信

ILCサポーターズ公式サイトQRコード➡



『ILCサポーターズ宣言』（8/4千支和にて）



平成30年度水沢42歳厄年連「神已来」の皆さん

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファックスでお気軽に質問ください。
■問い合わせ先 ILC推進室（内線442） ☎225033 ☐ilc@city.oshu.iwate.jp